聞いてきました まちの声

表紙によせて VOL.13

長尾神社氏子総代　中津留（なかつる）　孝司（たかし）　氏

今回は、星野村の長尾神社氏子総代の中津留孝司さんに、祇園祭の主役、こっぱげ面について伺いました。

250年近く続く伝統行事、コロナの影響で２年間中止となり昨年からようやく再開。人口減少で祭りの運営が厳しくなる中、伝統を守ろうとする強い思いと優しい笑顔が印象的でした。

こっぱげ面の由来をお聞かせください

長尾神社の祇園祭で江戸時代後期には行われていた伝統の祭りで、250 年ほど続いてきました。

勇猛な祇園の神様にあやかり神の使いである鬼たちが村中を暴れまわることで厄を払い、無病息災、五穀豊穣、家内安全を願って毎年行っています。

長尾神社の鬼の迫力は面を目深にかぶり、あまりの激しさから割れた鬼の面があり、その『こっぱげた（壊れた）』鬼の面のことを呼んだことが始まりだともいわれています。

コロナの影響はいかがでしたか

２年間中止し、昨年から再開しました。

伝統継承のご苦労などをお聞かせください

先輩方にいろいろ教えてもらい私自身は 50 年近く祭りに関わってきました。

昔は地域の世帯数が 70 から 80 軒ありましたが、現在では 47 軒です。氏子の人数も昔の半分以下の 20 軒ほどになりました。

赤鬼と黒鬼、獅子が加わり補助者を入れて７人が一組となり村中を回ります。祭りの主役の鬼はどうしても若い衆にがんばってもらうことになりますが、人数が減ってきているので若い衆を集めるのに苦労します。これまでには、高校生が参加してくれることもありました。

議会に対してメッセージをお願いします

若い人たちが勢いづくような政策をお願いしたいです。若い人達が元気であれば地域も元気になると思います。

議会を傍聴しませんか？

次回定例会

8月30日（水）予定

立花庁舎議場　午前10時から

八女市議会事務局23－4922

スマートフォンやタブレット端末で
議会中継を見ることができます

http://www.city.yame.fukuoka.jp/shisei/12
インターネットから「八女市議会」を検索
「議会インターネット中継」をクリック！

編集後記

「命（ぬち）どう宝」お金やどんなものよりも、大事なものは命であるという意味です。先の戦争で、唯一の地上戦を経験した沖縄の人びとが、平和を願い語り継ぐ言葉です。

星野村では、今年も核兵器のない世界を願う式典が行われます。戦争の悲惨さ、平和の大切さ、命の尊さをあらためて心に刻む八月を迎えます。

古賀　邦彦

発行責任者
議長　橋本　正敏
広報委員会
委員長　古賀　邦彦
副委員長　水町　典子
委員　服部　良一
委員　高山　正信
委員　小山　和也
委員　原田　英雄
委員　久間　寿紀
委員　坂本　治郎
委員　花下　主茂

発行／八女市議会　編集／広報委員会
〒834-8555 福岡県八女市立花町原島95番地1
TEL 0943(23)4922

竹紙10　※この広報紙は竹パルプ10%配合の環境に配慮した紙を使用しています